



## ガバナー補佐会議を終えて

国際ロータリー第2510地区

地区代表幹事

河口 義憲  
(札幌西RC)

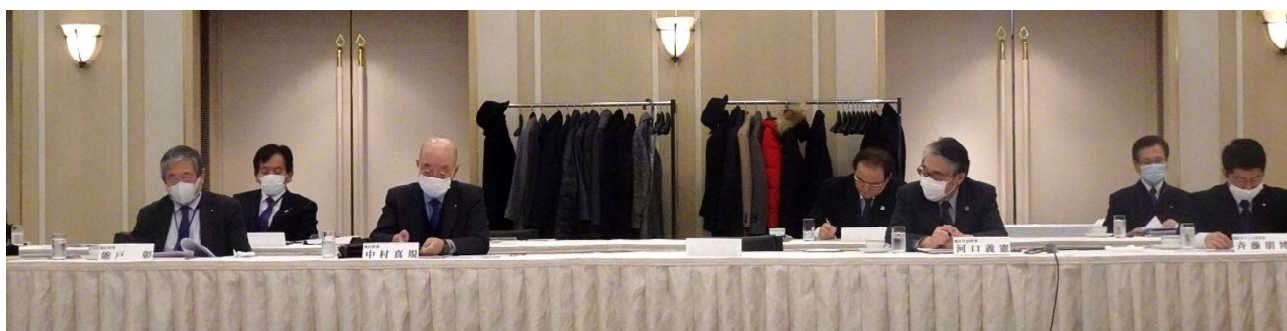
会員の皆様、あけましておめでとうございます。

2023年1月21日に年度後半初のガバナー補佐会議が開催されました。

一昨年の9月から石丸ガバナー年度を実効性のある実り多い年度にするため、各地区からの代表12名のガバナー補佐の皆様にお集まりいただき、嵯峨地区研修リーダー（PG）はじめ、小山PG、福井PGの各講師陣と勉強を重ねてまいりました。

昨年7月からの年度のスタートで、石丸ガバナーの、慣習にとらわれない新しい感覚に沿う形で行事が進み、地区大会でも新しい試みも取り入れ、大会は新型コロナ禍のなか全員参加とは参りませんでしたが、大過なく進めることができました。またしばらく中止されていた懇親会も無事行われ、出席者の親睦を深めることができました。

前半のガバナー訪問等で出ていました問題、課題をこれから解決してゆくための年度後半となります。



各グループでのIMもこれから予定されています。長年の最重要課題であります会員減少問題では、小山司地区会員増強委員長（PG）からは、会員増強に関する厳しい現状の数字の説明がありました。クラブの存続には30名以上が必要といわれていますが、半数が未達で、存続の危機のクラブや、今後クラブ解散を決めたクラブもあるようです。女性会員数は伸びてきているようで7～8%で多少は国際化基準に近づいたでしょうか？（国際は25%程度）

しかし会員数の減少を止めるのは至難の業でもありますが喫緊の課題であることに異論はありません。

年度後半での行事として2月予定の国際ロータリースキー同好会の案内で、スキーでなくても、親睦のため夜の懇親パーティに参加しませんかというお誘いがありました。

会員増強に関し、嵯峨地区研修リーダー（PG）から4月の新会員合宿会員セミナーの意義、案内がありました。過去、会員退会のほとんどは3年未満会員が多いとの事実から、ロータリーをもっと知ってもらおう、体験してもらおうとの意図があり始まったセミナーだそうです。地道ですが大切なセミナーのようです。

また5月12日～14日の地区RYLAセミナーが齊藤朋博地区RYLA委員長からあり、若者を育てる意義が話され、そして福井PGからメルボルン国際大会（5月27日から）の説明がありました。現在20数名参加予定で、まだ予約可能だそうです。

そして6月の新チームへの引継ぎへと続いてまいります。次年度の松浦GEが1月8日から12日までアメリカのオーランドでの国際協議会に参加され、次年度への準備も始動し始めるようです。

今回のガバナー補佐会議に参加されたガバナー補佐の皆様には、これからの任期後半での新たな奮起をお願いし、有終の美を飾りたいところです。

会議後の懇親会は和やかに進み、最後にこの日が福井PGの誕生日との事で石丸Gからサプライズプレゼントがありました。おめでとうございます。

